

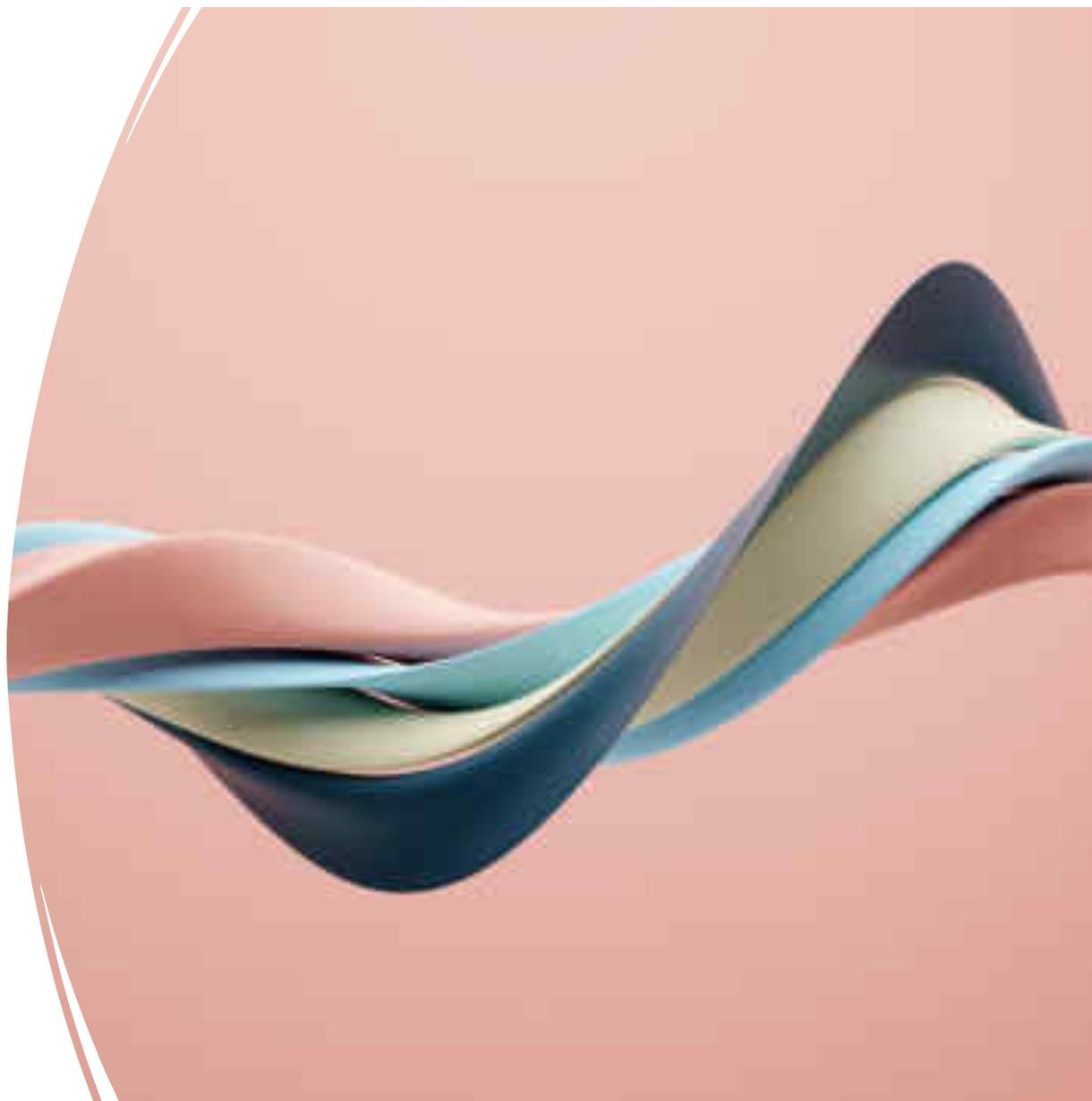
# 「ちいさなしあわせ を重ねるふるさと」 をつくる

—労働者協同組合という担い手—

---

牧野 篤

(東京大学大学院教育学研究科)



**1. 「よきこと」に気づき、実践する**  
**: コロナ後の社会への希望**

**コロナ禍を経て、居場所がなくなった「若者・子ども」が急増  
家族（とくに親）との関係が「きつく」て、家を出る子ども・若者たち**

**話せばわかってくれるという信頼感が  
自己肯定感を強める**

**社会に居場所ができる**

**⇒自立・自律しようとする**

**コロナ禍で起こった「恩送り」**

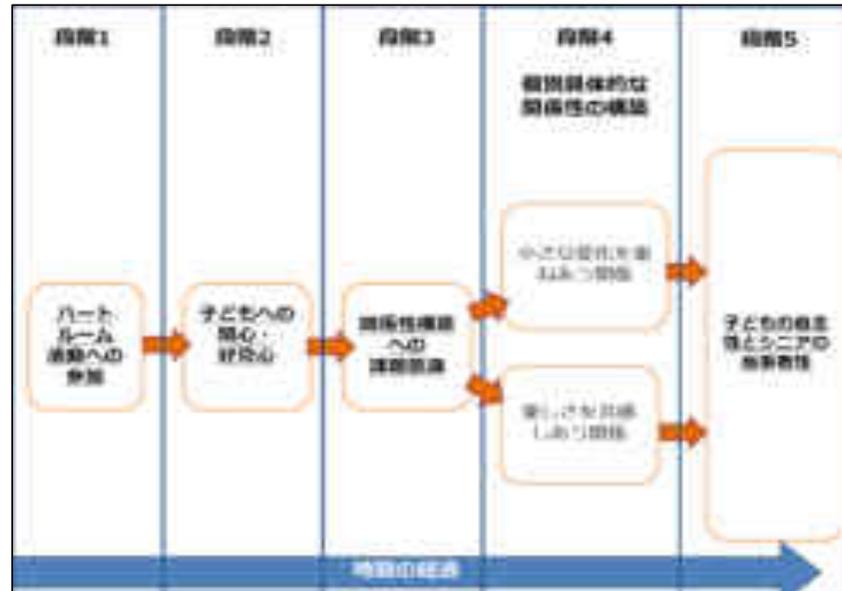
**地域の高齢者を心配して布マスクを縫って届けた中学生たち**

**校区の子どもたちのために布マスクを縫って配付した高齢者住民たち**

『中日新聞』(岐阜地域欄)2020年4月17日

**⇐互いに相手を慮って、うれしかった！！**

## 高齢者と子ども双方に信頼感にもとづく変化が



## 住民によるマスクづくり



**「恩送り」：自分への見返りを考えずに、相手によって「よきこと」をする**  
↳ **基本的に、次の世代を育むこと = 社会をつなげること**

↳ **「長い箸の寓話」**

↳ **ルソーの「一般意志」**

**私たちが社会をつくっていることの基盤**

**Compassion**

⇒ **Compassionate Community (苦しみ・悲しみを分かちあう社会)**

**相手への想像力、「よきこと」に気づく、実践する**

## 2. 根源的危機の時代へ

危機：crisis = 岐路

危機の時代には、未知の大海に向けて「希望」を描く「勇気」が必要

希望へのビジョンが「危機の時代」の痛みを耐えさせる

だが．．．．．

いまや、**根源的危機の時代**へと立ち至ってしまったのでは？

天文学的には、50億年後には地球は消滅し、

また数か月後に天体衝突で人類が絶滅する可能性はある。

しかし、今世紀末（100年後）には人類は、過去に経験したことがないほどの過酷な環境で生きることが余儀なくされる。どれくらい過酷な状況になるかは、現在の我々がとる態度次第である（天文学者・岡村定矩東大名誉教授）

（神野直彦氏提供資料[人生100年社会デザイン財団フォーラム20230510]参照）

## 「危機の時代」を襲うパンデミック + 気候変動

内在的危機：人間の社会がつくる危機 = 経済恐慌・戦争など

外在的危機：人間の社会がつくったのではない危機 = 自然災害・病疫など

「危機の時代」：内在的危機が噴出する構造的転換期

しかし、深刻な危機の時代には内在的危機に外在的危機が重なる

農業社会から工業社会への転換期：黒死病(ペスト)のパンデミック

= 1347年～53年にヨーロッパ人口の3分1(約2500万人)が死亡

軽工業社会から重化学工業社会への転換期：スペイン風邪のパンデミック

= 第一次世界大戦中1918年から20年にかけて、約5000万人が死亡

第一次世界大戦・第二次世界大戦の合計死者より多い

工業社会からポスト工業社会への転換期：新型コロナウイルス感染症のパンデミック

ここへさらに、気候変動

(神野直彦氏提供資料[人生100年社会デザイン財団フォーラム20230510]参照)

**根源的危機の時代は、大きな転換点**

**このような時代にこそ、足下の「生活」「地域社会」を見つめる必要**

### **3. 価値観の変容**

: 一元的価値観から多様な価値の併存と分散へ

もう、みんな一緒の方向を向いている社会ではない

物質的な豊かさが幸福をもたらさない社会  
社会の「富」を「お金」で測れない社会

## イースタリンの逆説 (Easterlin paradox)

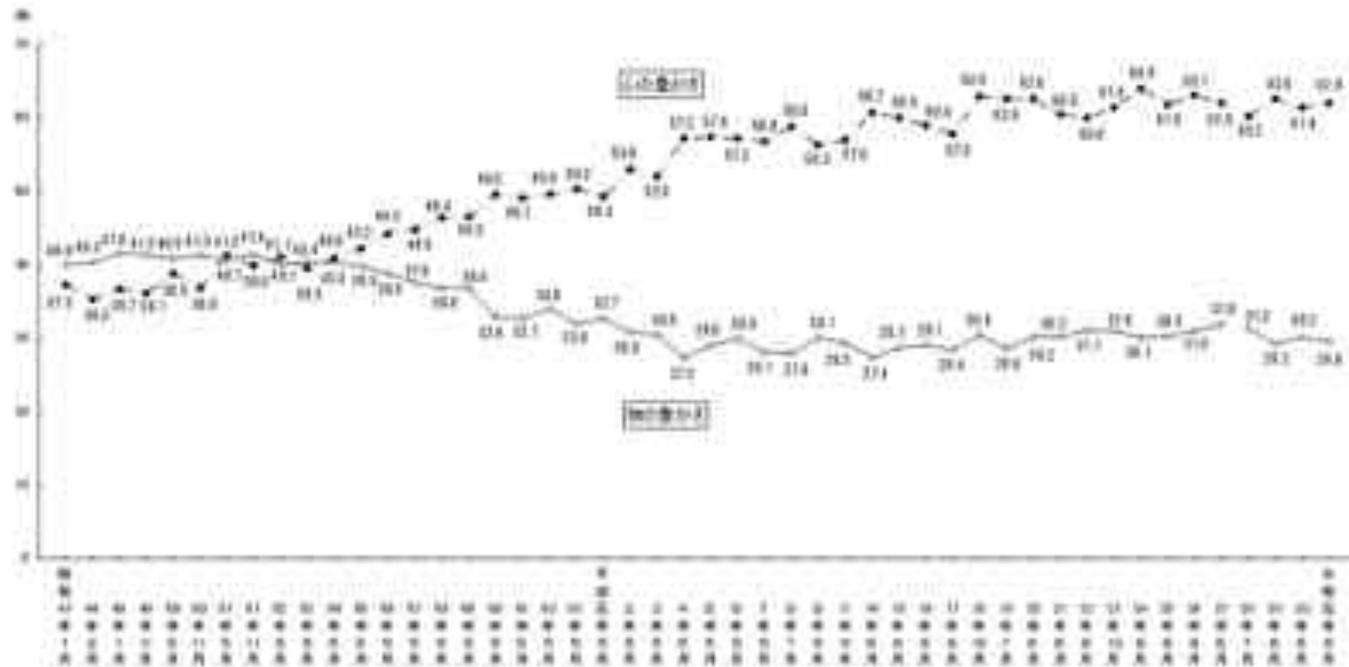


[https://www.ishes.org/project/responsible\\_econ/happiness\\_econ/paradx\\_happiness.html](https://www.ishes.org/project/responsible_econ/happiness_econ/paradx_happiness.html)

## ⇒ 「幸福感」の変化

すでに心の豊かさの時代

図1-3-2 これが「心の豊かさ」、まだあの豊かさが(棒状列)



「心の豊かさ」は「世論調査」の「心の豊かさ」の項目から算出されたものである。  
 「物の豊かさ」は「世論調査」の「物の豊かさ」の項目から算出されたものである。  
 ※世論調査の調査対象は、18歳以上の世帯員を対象とし、世帯単位で調査が行われる。

内閣府「国民生活に関する世論調査」(令和元年6月)  
<https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-life/zh/z21-2.html>

**VUCA(予測不可能)な時代とは：**

**現象が予測できないということではなくて、  
その現象がもたらす「問題」「状況」が  
これまでの価値観では予測できないということ**

## 存在欲求の時代へ

**いまだに所有欲求の時代の価値観で問題を立てていないか？**

## 4. 人生100年時代の特徴

**2007年生まれの子どもたちの予測平均寿命=107歳**

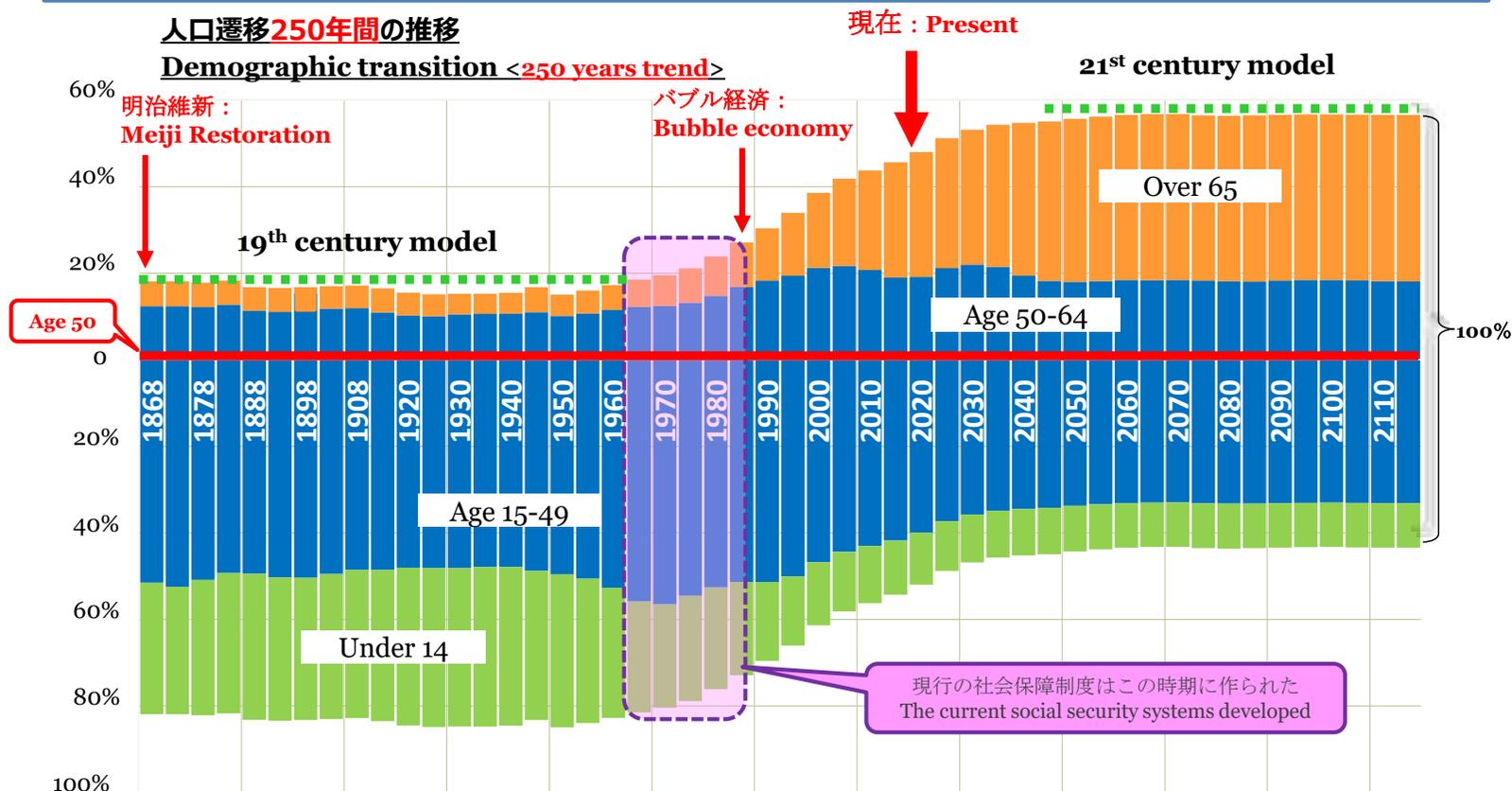
**日本人の平均寿命=男性：81歳　　女性：87歳**  
**最頻死亡年齢=男性：87歳　　女性93歳**

**健康寿命=世界で最も長い**

# 人口構造の遷移 Japan's demographic structure & transition



- There has been a **major shift in the population structure** from the 19<sup>th</sup> to the 21<sup>st</sup> century.
- It will be **impossible** to maintain the **social security systems** established in 1960-80s.



Source: Sensus, Okazaki estimate, National Institute of Population and Social Security Research 2017 estimate

© T Hasegawa RIFH. Japan

UN Estimate2017

経済産業省提供スライドより

## 高齢者の認知能力の加齢に伴う変化

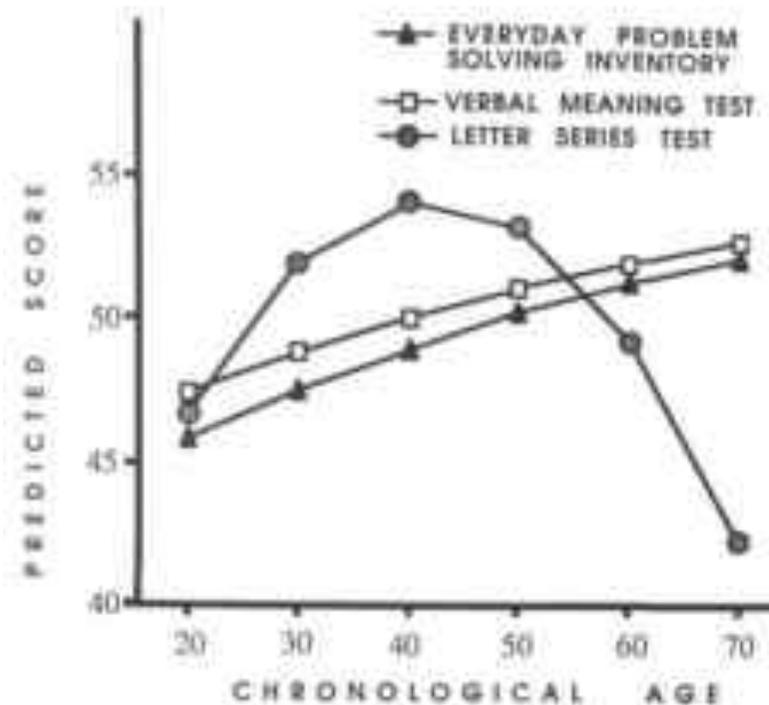


Figure 1. Regression lines displaying predicted levels of performance on ability tests as a function of chronological age. (Ability performance is measured in standardized T scores [ $M = 50$ ,  $SD = 10$ ].)

短期記憶は低下する

言語能力と日常生活問題解決能力は  
伸び続ける

言語能力と問題解決能力は  
人間関係に依存する

⇒新しい社会に対応した人間の力

**先達・私たちが創ってきた「よい社会」をどうつなげていくのか**

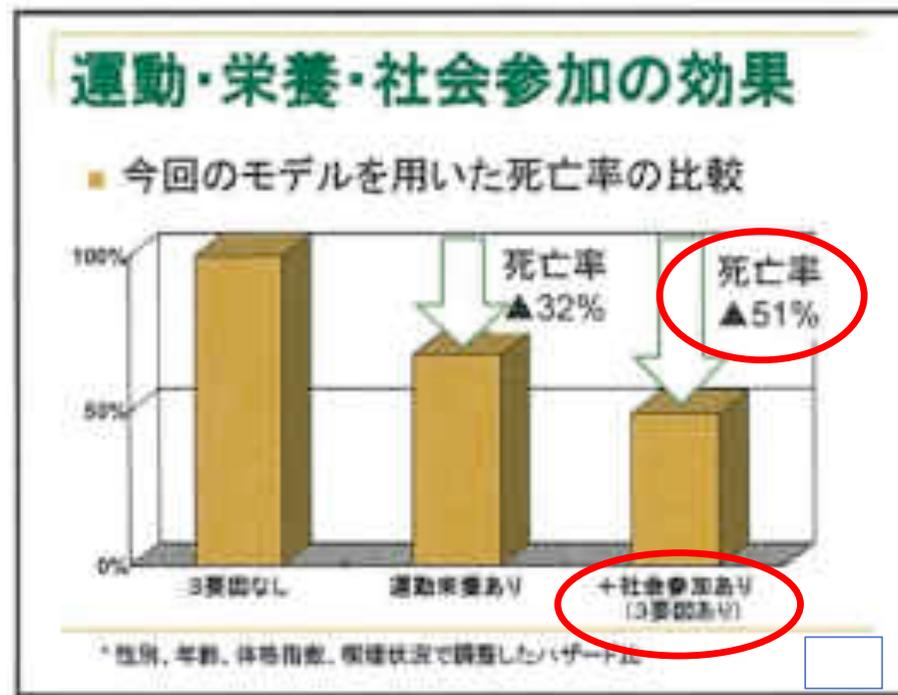
**⇒社会の持続可能性を高め、誰もがウェルビーイングを実現できる社会へ**

## 5. 「かかわり」が大切な社会へ

# 静岡県高齢者コホート研究

【高齢者14,001人の追跡結果】

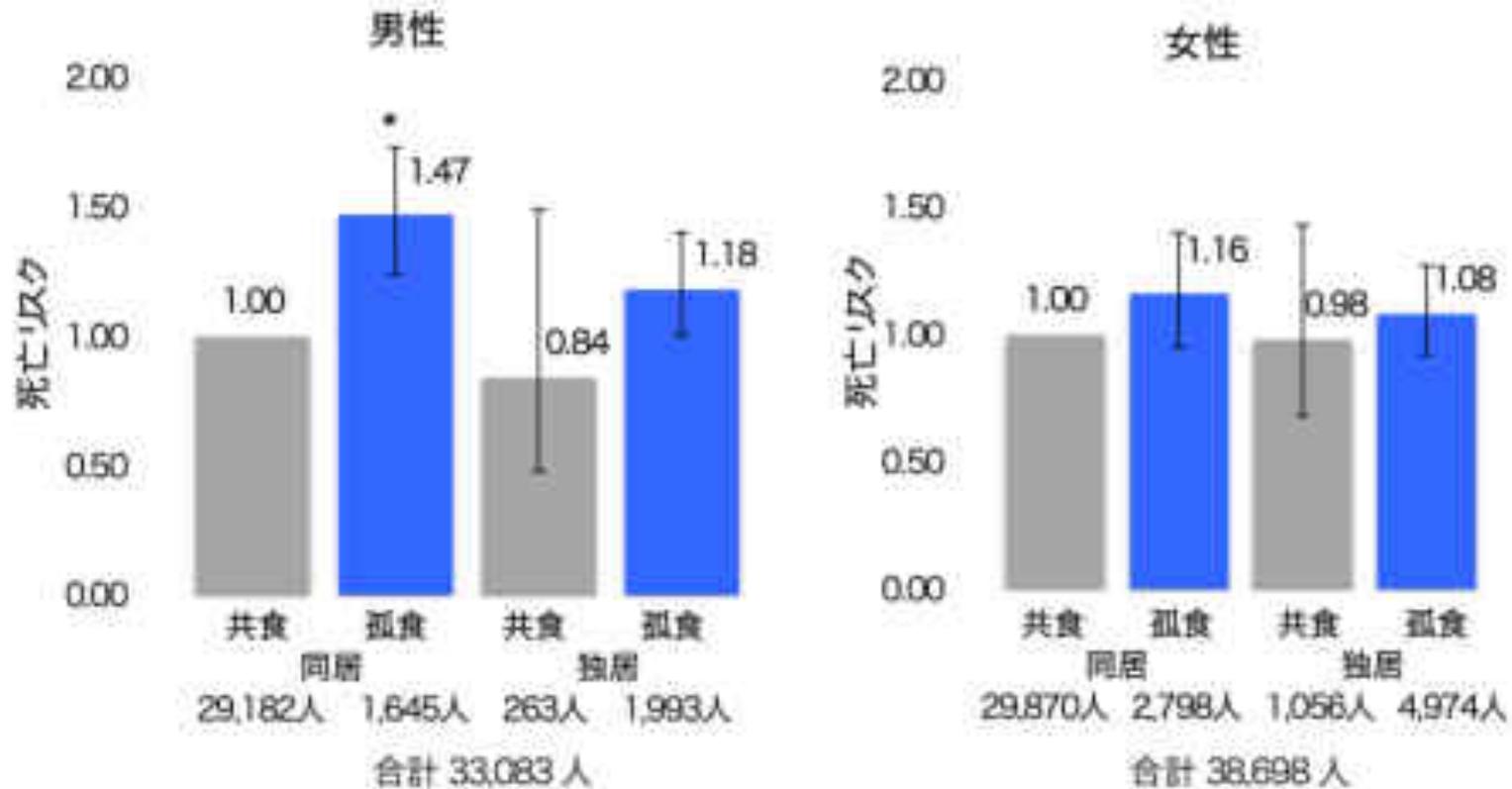
○運動・栄養について良い習慣を持つこと、更に**社会参加**により死亡率が大幅に低下



出典:「静岡県高齢者コホート調査に基づく、運動・栄養・社会参加の死亡に対する影響について」  
2012年、東海公衆衛生学会、平山朋他

データの例

高齢者の孤食と死亡との関連 男女別)



年齢、治療中の疾患、生活機能、教育歴、経済状況の影響を調整しています。

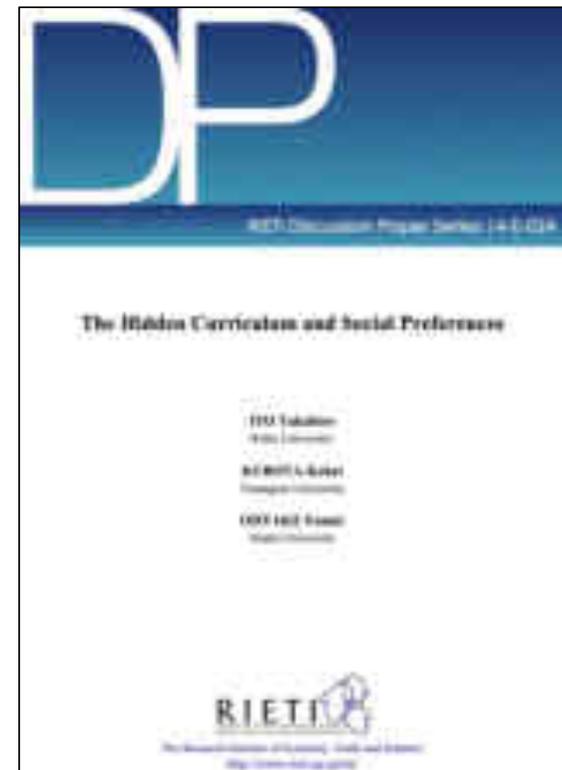
\*は統計的に有意な関連があったことを示しています。

武田俊彦「人生100年時代の医療と暮らし～いのちといきがいと人生～」、  
(一財)人生100年社会デザイン財団デザインフォーラム、20220316資料より

(出典) 東京医科歯科大学  
Press Release No. 103-16-33

小学生時代にボランティアなどの  
経験を積んだ者は社会貢献意識が高まる

参加・協力を経験した子どもは、  
他者のために行動することを好み、  
利他性と互惠性が高まり、  
他人への協力を好み、  
国への誇りを持つようになる傾向がある



人は「かかわり」の存在

**6. 「認めあう社会」（〈ちいさな社会〉）  
をたくさんつくる**

**先達が創造した「夢のような」社会をどう次の世代につなげるのか**

# a. 「学び」と「人づくり」を一つながりに

## : 島根県益田市「人が育つまち」「人が輝くまち」

益田版カタリ場の種類

小学校カタリ場 小学生 + 教員	中学校カタリ場 中学生 + 地域の大人	高校カタリ場 高校生 + 企業の大人
		
<b>「読書会」を軸とした高校生からこれからは「読書会」の小学生へ</b>	<b>「読書」の場づくり、「読書」の場づくり</b>	<b>「読書」の場づくり、「読書」の場づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 卒業後の高校生3年生とこれからは中学生が中心となる場づくり</li><li>● 小学生、中学生、高校生が読書のイベントに参加できる</li><li>● カタリ場を設けた上で高校生は、卒業後生活と関わる書庫に、益田が読りあふれて、小学生に読書</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中学校読書会場を設け、中学生による場づくり</li><li>● 公民館と連携して、地域を創りあげよう場づくり</li><li>● 地域で合う場があるからこそ、しーから読書をつくり、その後の読書活動の場づくりや読書会づくり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 社会人の読書会を設け、高校生による場づくり</li><li>● 市内企業と連携して、読書会が読書会場づくり</li><li>● 町内企業と連携して、読書会が読書会場づくり</li></ul>

益田市教育委員会提供スライドより

## 公民館を拠点とした、中学生地域活動チーム



【北仙道地区】  
陽光会



【豊川地区】  
とよかわっしょい



【匹見3地区】  
匹中会

## b. 過疎・高齢中山間村の活性化事業



## 2009年に開始、以来14年間のとりくみ、現在も展開中

基本的考え方：「農的生活」を基本として、新しいライフスタイルをつくる  
現地の高齢者の文化や生業を基盤に、都市の若者文化を融合する  
自然環境配慮型のライフスタイル

単能工の都市民を多能工の「農的生活者」に組み換える  
「農的生活」とは農業の生活ではなく、様々な生業を行う生活  
多能工的な「農的生活者」は多様な能力を啓いた生活者

プロジェクト開始時10名の若者が、いまでは60名になり、子どもも40名ほど生まれた  
一人あたり年収は現金で300万円超、現物を入れると600万円ほどとなり、  
全国平均を超える



すべての写真：戸田友介氏提供



かかわりあう  
共に感じる、動く  
励ましあう





地域密着型通所介護  
小規模デイサービス  
あんじゃない

移住した青年たちが、地元の高齢者に寄り添いつつ、  
ともに生活する場の創造  
地元の文化・生活を新しいライフスタイルへ  
集落全体をグループホームのように形成する



**仕事を分け合い、シェアリング・エコノミーを実現する  
生活を支えあい「多能工」になる**

**中山間村が多世代共生のグループホームに**

**中山間村がエネルギーの自立圏に**

**旧来の工業社会では価値がなかった中山間村が  
日本の先端地域に**

## c. 少子高齢人口減少社会を「関係」から考える

### 集落を消滅の危機から救う「自給家族」



「源流米ミネアサヒCSAプロジェクト」

一般社団法人押井営農組合



以下、鈴木辰吉氏提供スライド/2022.9.17ソーシャルイノベーター研修自給家族.pdf

## 「自給家族」は自治の営み

生産者と消費者が一つに  
なって農村と食を守る

「自給家族」は、土地に根差した食と農の営み。農の営みが続く限り集落は存続し、家族に安全な食の確保が保証されるシステム。

迎える「少数化社会」の山村は、開かれた共同体中心の社会（Open Common「関係人口」と共に作る新しいコミュニティ）によってのみ存続できる。

「自給家族」は押井の里の登録商標です



# 誰も損も得もしない、みんなが 少し幸せになる「自給家族」

## ここがポイント

- ① 集落が家族になる ⇒ 新たな家族を増やす
- ② 地域まるっと中間管理方式 ⇒ 現代の庄屋
- ③ 新たな消費志向 ⇒ 食の「自給」と安心感
- ④ 山村集落の存続 ⇒ 美しい農村景観を守る



ゆるゆると、楽しんで集落を守る！

米一俵を30000円で

米を買うだけではない  
**「かかわり」をつくる**  
生活をともに維持する  
農業をともに維持する  
農地をともに維持する  
環境をともに維持する

**農業における物質代謝を適正化する**



**ある種のアソシエーションとしてのコミュニティ  
よそ者が「当事者」になる**

## 7. 「楽しさ」に駆動される社会

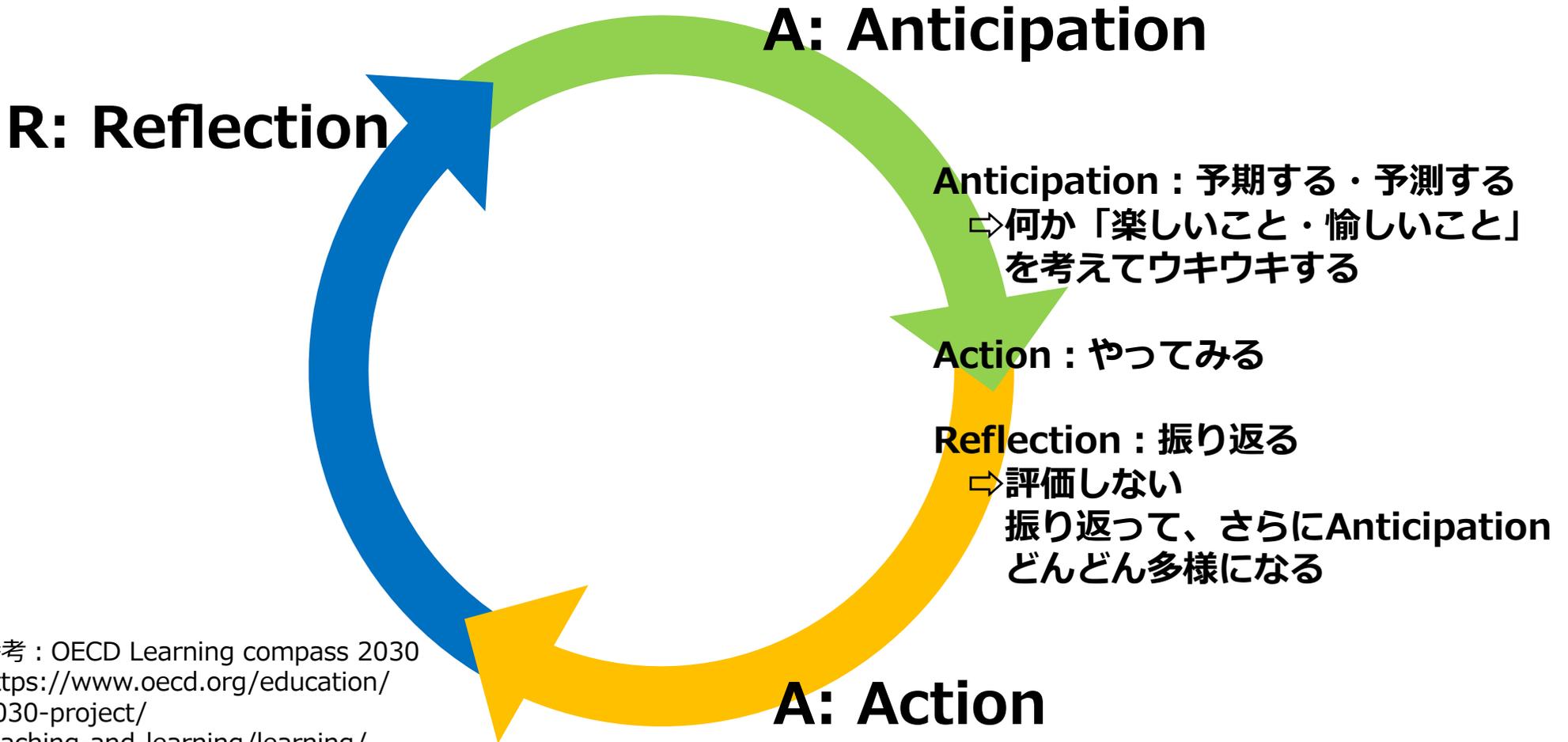
**〈ちいさな社会〉づくりの取り組みは  
何をやっているのか**

**相互承認関係をつくる  
非認知能力を向上させる  
社会に信頼感をつくる**

**人々が自律する  
自己肯定感を持てるようになる**

**「ことば」を使いこなして「対話」する関係**

**曖昧でゆるやかで、  
関心をもつ人々が  
多重に覆い被さることが必要**



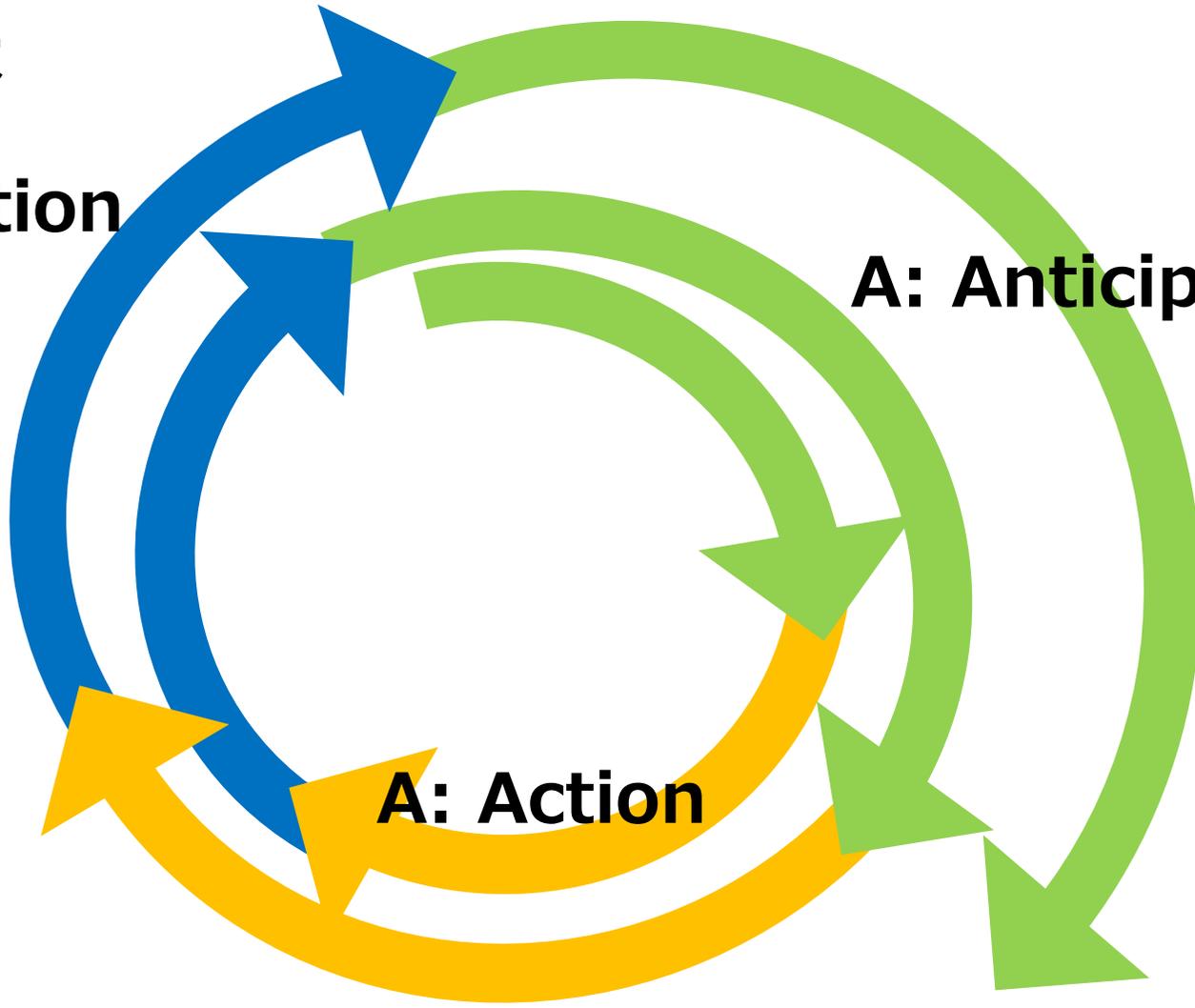
参考 : OECD Learning compass 2030  
[https://www.oecd.org/education/  
2030-project/  
teaching-and-learning/learning/  
learning-compass-2030/  
in\\_brief\\_Learning\\_Compass.pdf](https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning-learning-compass-2030/in_brief_Learning_Compass.pdf)

実際は

R: Reflection

A: Anticipation

A: Action



## 8. FOR ALLの上にBY ALLへ

**各地で、子どもたち（中高生）が自治会の役員に**

**子どもたちもすでに社会の担い手に**

**⇐おとなたちが愉しそう・おとなが受けとめる**

朝日新聞デジタル20220530

[https://www.asahi.com/articles/ASQ5W4CSRQ5TULOB01G.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://www.asahi.com/articles/ASQ5W4CSRQ5TULOB01G.html?iref=pc_ss_date_article)

**「学び」 = 「よきこと」に気づき、実践する  
⇒ 社会に「共通善」を実践する営み**

**「学び」を「公共財」として実装する事業**

**全員が当事者になる**

**自分を尊重してもらえ  
相手を尊重している**

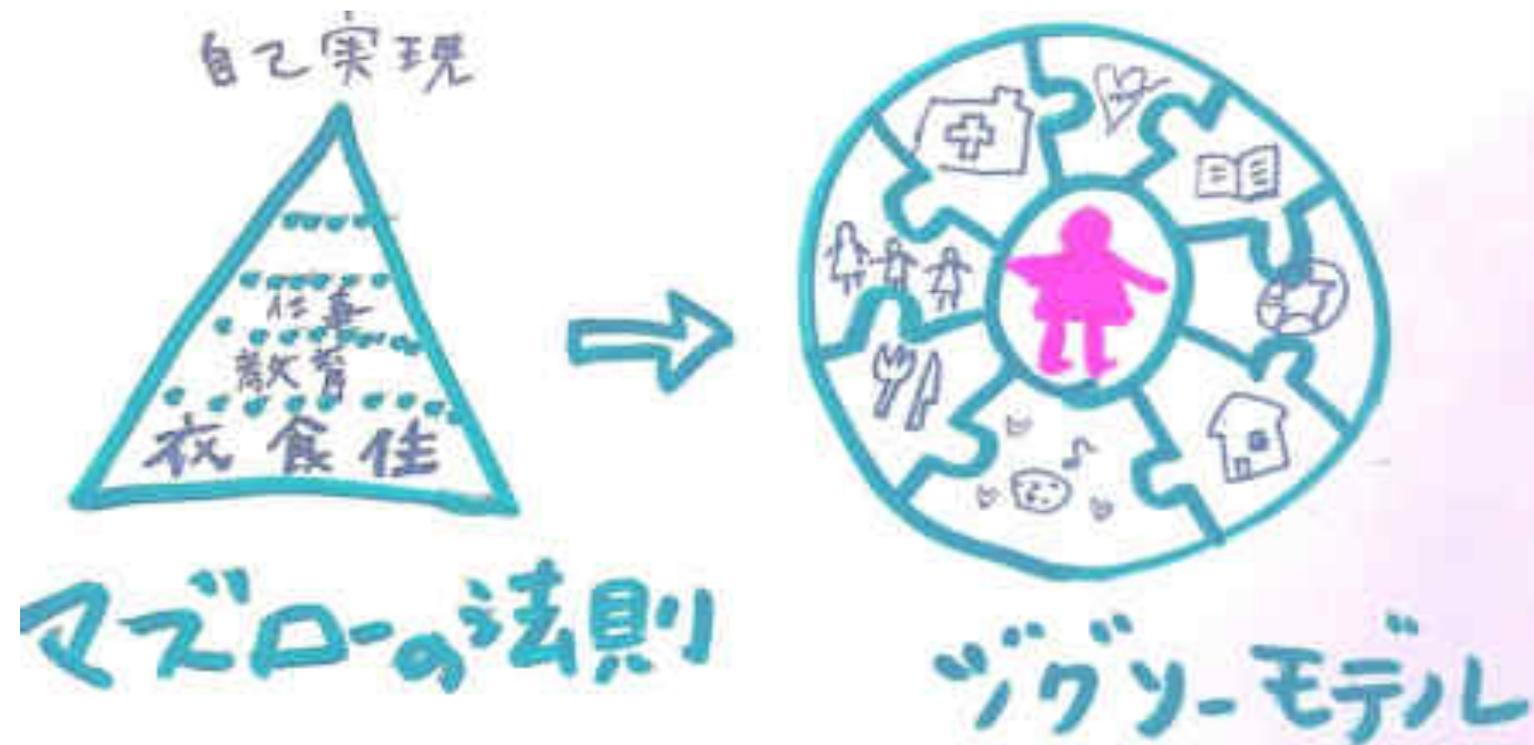
**信頼感と想像力**

## 9. 「はまる」と、「育つ」

**強い個人の「自立」ではなく、  
みんなとの「かかわり」の中に  
「はまる」と動くし、「育つ」**

## Maslow's Law

## Jigsaw-puzzle model



上田假奈代「こえとことばとこころの部屋ココルーム」、東京大学大学院教育学研究科社会教育学研究室主催公開講座「社会教育の再設計・シーズン3」における講義（第2回・2022年2月17日、オンライン）

新しい三世代

**社会は三世代の中抜きでつながっていく**

じじばば⇨孫

都市部に条件ができている  
家庭内三世代ではなく、**都市内三世代同居**

⇨「おばあちゃん仮説」  
生物学的な「老後」の役割

3つのun

3つの「Un」で駆動するプロセス  
=みんなが主人公になる構え

- **Unmute** 対話しよう
- **Unlearn** 学びほぐそう
  - ⇒ **Relearn** 学び続けよう
- **Unlocked** 新しい自分とみんなを発見し続けよう
  
- **AAR cycle** まずは、やってみよう

「はまる」とは



## Jigsaw-puzzle model

「ひと」との「あいだ」に「はまる」

「はまる」と「ひと」との間で  
力を引き出される

「ひと」の役に立てる  
自分が変わる

「ひと」との「あいだ」が変わる

**「はまる」とは**

**みんなに巻き込まれて  
みんなと一緒に、  
ウェルビーイングの主体に、  
なること**

**⇒自ら動く「自治」の主役となること**

## 10. 「ふるさと」は「ひと」

**「ひと」との「あいだ」が自分の居場所になる**

**「ひと」が「ふるさと」となる**

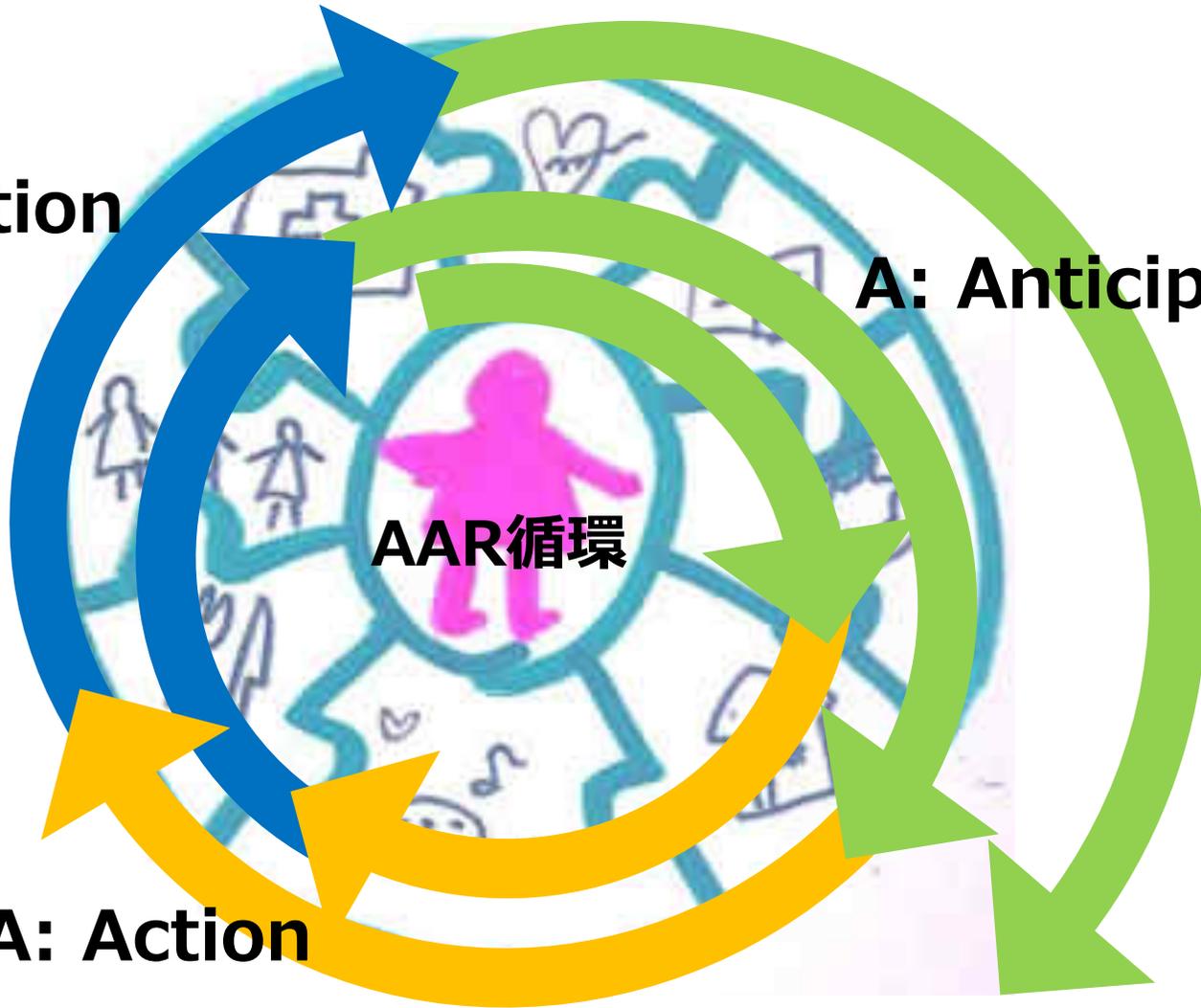
**「ふるさと」とは自分に「誇り」を持てること**

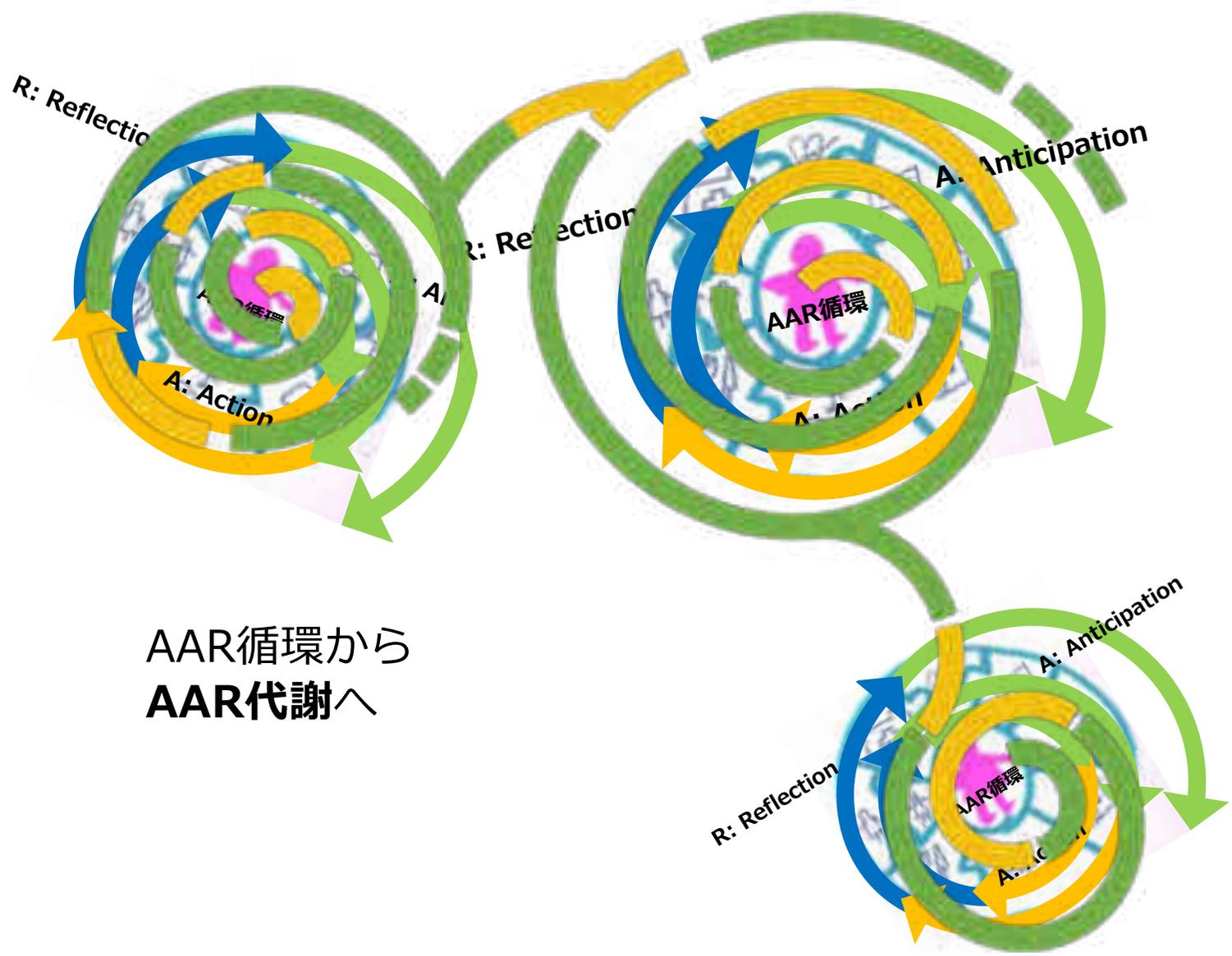
**R: Reflection**

**A: Anticipation**

**AAR循環**

**A: Action**





AAR循環から  
AAR代謝へ

**人を切り分ける社会**



**人と人との「かかわり」を紡ぐ社会へ**

## 11. 労働者協同組合という担い手

恩送り

**人生100年時代を生きぬく**

**そのために**

**みんなが、みんなで、みんなのしあわせをつくる社会へ**

**ちいさなしあわせを贈りあい、重ね合う社会**

**By Allの社会**

**労働者協同組合は**

**一人ひとりが「はまる」「まきこむ」「つくる」媒介  
By Allの主演**

**⇒ Compassionate Community  
= 社会の地下水脈**